

欧文誌 JMSJ (冊子体) の会員送付の変更について

会員各位

日本数学会の欧文誌 Journal of the Mathematical Society of Japan (JMSJ) の会員に対する送付に関して、来年度より大きな変更を行うことをご報告いたします。

従来日本数学会は会員全員に JMSJ (冊子体) を送付して参りましたが、実はこの送付は政府からの大きな援助に支えられております。具体的には、2011年度に要した印刷費の約730万円(税込)のうち460万円には科学研究費補助金(研究成果公開促進費)を充当しています。ところが、2013年度から研究成果公開促進費の制度変更によって、今後この資金はあまり期待できない情勢であると判断します。

この状況にどう対処するか、理事会で慎重に検討いたしましたところ、会員全員への JMSJ 送付を維持することは中長期的に困難であるという結論に至りました。最大の理由は、会員数の減少による会費収入の減少が予想されるからです。短期的には JMSJ の送付を維持できるかもしれませんが、理事会としては、日本数学会の限られた資源を不定期刊行物電子版の公開や日本数学会のさらなる国際化などに投入した方がより有効であると考えます。

また日本数学会は JMSJ の電子版を Project Euclid に完全公開し、会員にアクセス権を付与いたしておりますので、ほとんどの研究者が電子版で雑誌論文にアクセスしている現実を考慮に入れると、大多数の会員にとって JMSJ 冊子体の送付を停止してもデメリットとはならないと判断しております。

以上の議論の結論として JMSJ (冊子体) の会員送付の方式を次のように変更いたします。すなわち、会員全員に対する JMSJ の発送は Vol. 65 No. 2 (2013年4月刊行予定) から取りやめ、希望する会員に限り無償で送付することにいたします。

なお、「数学通信」および「数学」の送付は従来通り続けさせていただきます。JMSJ 送付方式変更の詳細は、「数学通信」8月号などであらためてご説明いたします。

以上の方針については、日本数学会2012年度年会の評議員会において説明し賛同を得られたことを付記します。JMSJ 冊子体に代わる会員サービスを理事会で今後真剣に考えて参りますので、この件につきまして皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(理事長 宮岡洋一 記)